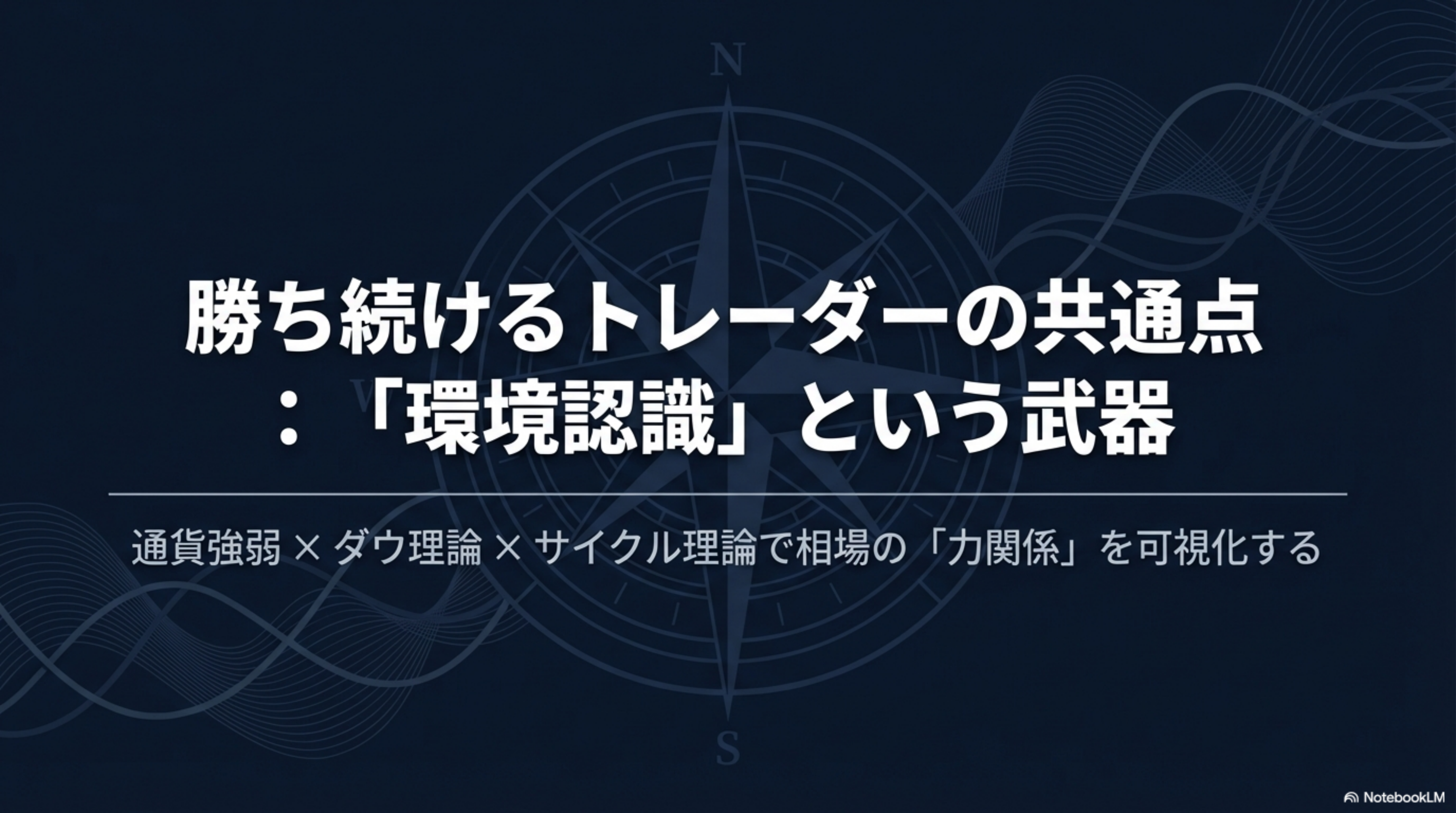




勝ち続けるトレーダーの共通点 ：「環境認識」という武器

通貨強弱 × ダウ理論 × サイクル理論で相場の「力関係」を可視化する

エントリー技術よりも「環境認識」が勝敗を分ける

多くの人が陥る罠

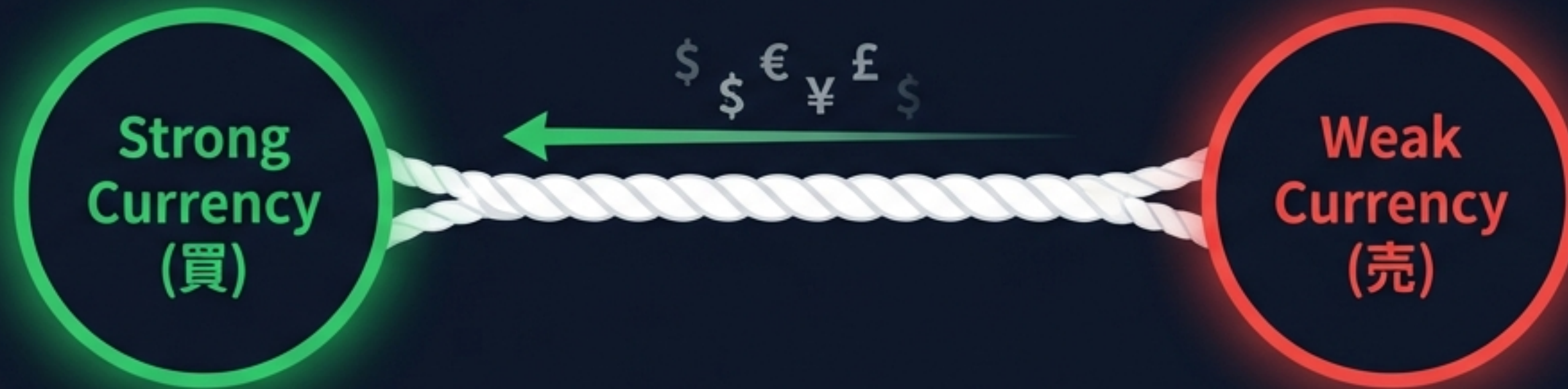
- 「どこで入るか？」(Entry Point)ばかり探している
- 手法やシグナルに頼り切り
- 結果：勝ったり負けたりが安定しない

安定して勝つ人の視点

- 「どの方向に力が働いているか？」(Direction)を見ている
- トレードする前の「環境認識」に重きを置く
- 結果：有利な波にだけ乗るため、事故が減る

環境認識を支える最強のツール、それが「通貨強弱」である。

通貨強弱とは：相場の「力関係」を俯瞰する視点



例：ドル強・ユーロ弱 = ユーロドルは売り (Sell) が最短ルート

一定期間において、どの通貨が相対的に買われ、
どの通貨が相対的に売られているかを示すもの。

~~Not: 「どこでエントリーするか」~~

Is: 「風がどちらに吹いているか」 (方向性)

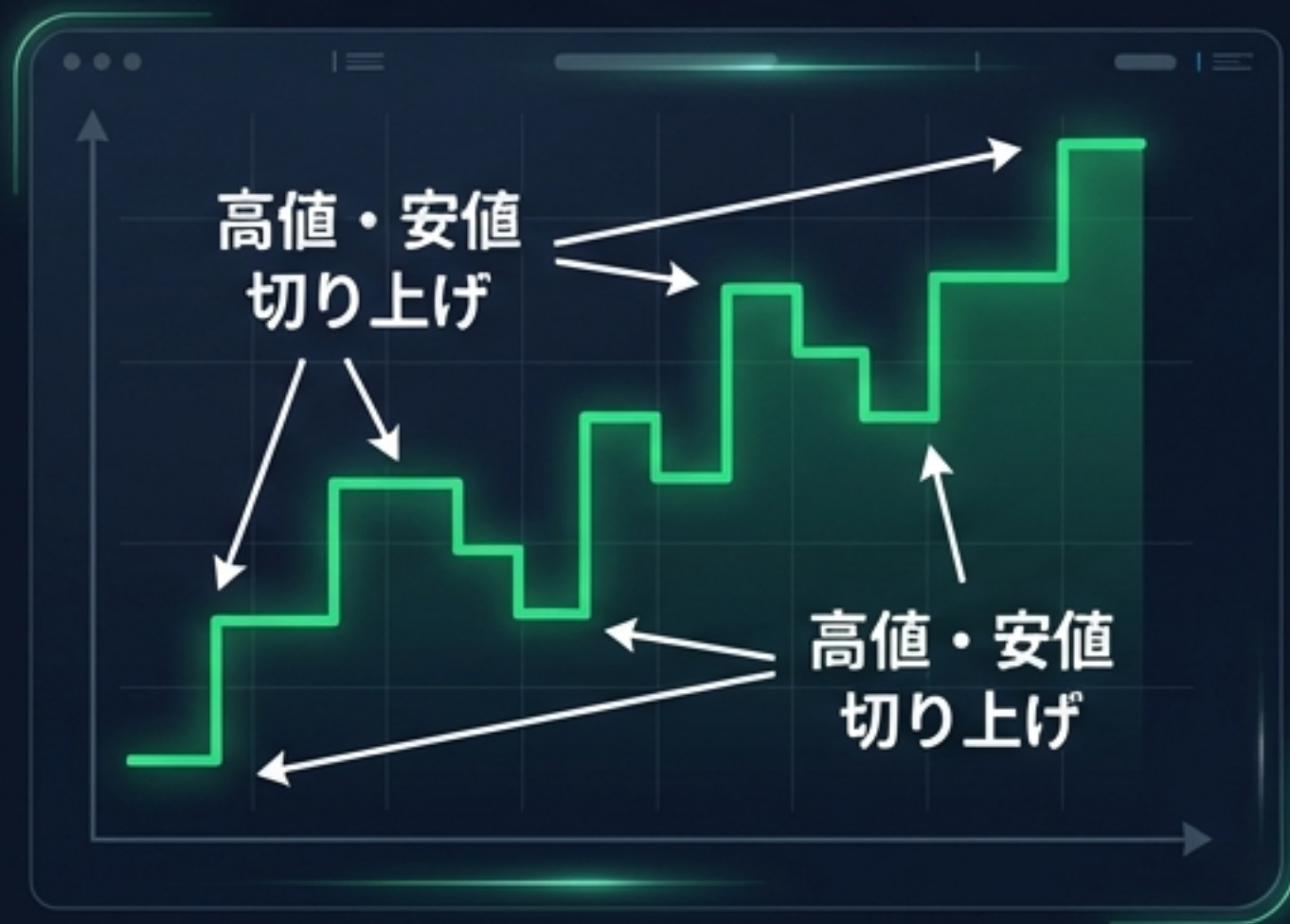
なぜ通貨強弱なのか？既存理論との圧倒的な親和性



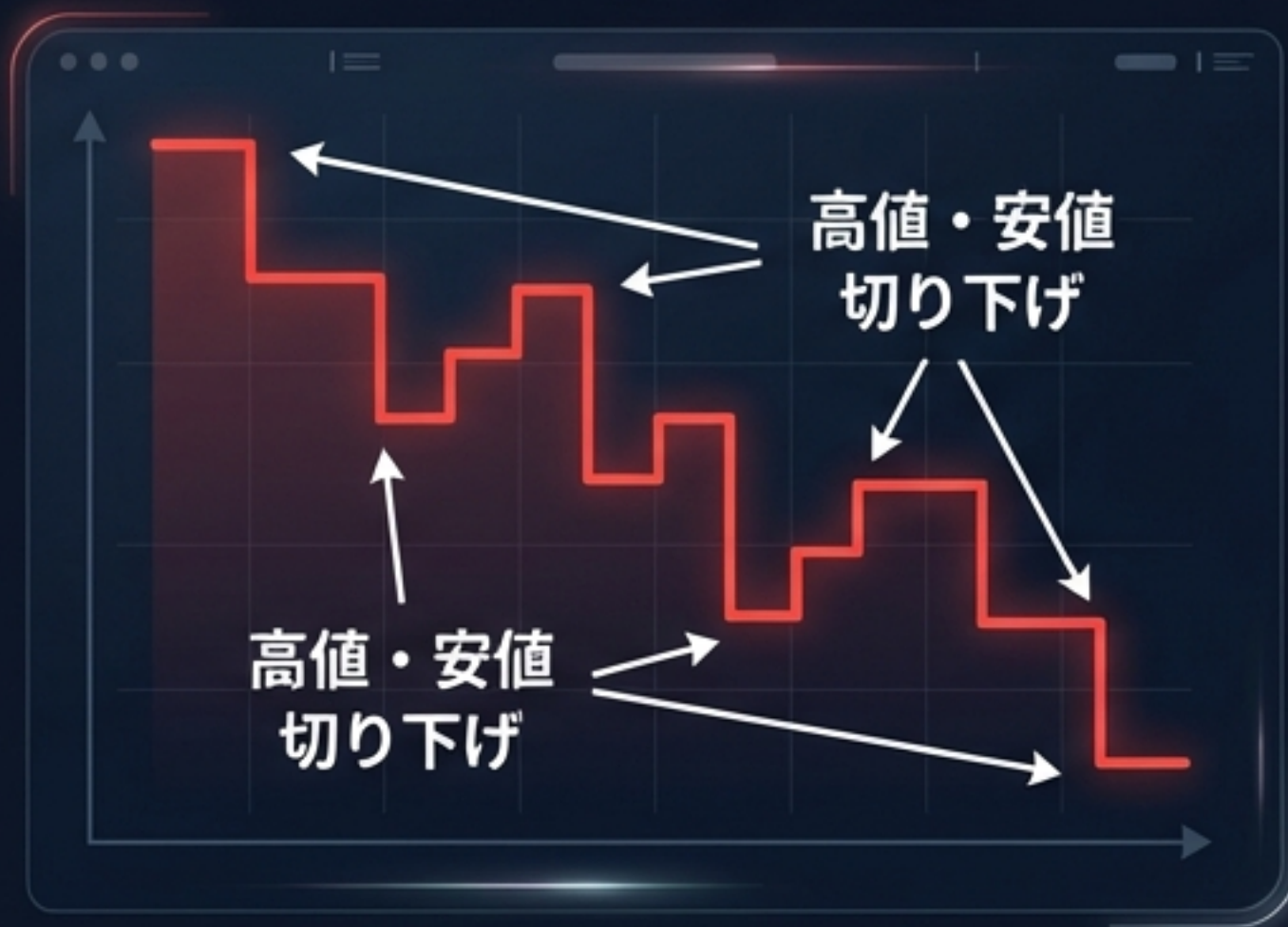
通貨強弱を取り入れることで、この2大理論の精度が飛躍的に向上する。

通貨強弱 × ダウ理論：トレンドの定義を「通貨単位」で拡張する

強い通貨 (Strong)



弱い通貨 (Weak)



通貨強弱 = 「どの通貨がダウ理論的に優位か
(トレンドが出ているか)」を示すコンパス

実践例：最も有利な通貨ペアの選び方

Step 1



USD (ドル) -
高値安値切り上げ [最強]



EUR (ユーロ) -
レンジ [中立]



JPY (円) -
高値安値切り下げ [最弱]

Step 2

最強 × 最弱 の組み合わせ

\$ USD × ¥ JPY

Step 3

Buy USD/JPY

方向性が明確で、抵抗が最も少ないルート

「とりあえずユーロドル」ではなく、「今日はドル円が動きやすい」という根拠ある選択が可能になる。

通貨強弱 × サイクル理論：「方向」だけでなく「タイミング」を図る



強さは一定ではない。サイクル理論と組み合わせることで、「天井掴み」や「底ショート」を回避する。

複数期間で見ることで「現在地」を把握する

日足
(Daily)



上昇トレンド継続中
(Strong)

4時間足
(4H)



勢いが鈍化
(Neutral)

1時間足
(1H)



調整下落中
(Weakening)

診断: 上昇サイクルの終盤
(調整局面)

Action:
今は買わない (Wait)

長期が強くても短期が崩れている時は手を出さない。これが「天井掴み」を防ぐ。

環境認識の完全構造：3つの理論を組み合わせる「トリニティ」

1. 通貨強弱 (Currency Strength)

どの通貨が主導しているか？ (Identify Players)

High Probability Filter

2. ダウ理論 (Dow Theory)

その通貨のトレンドは成立しているか？ (Confirm Direction)

3. サイクル理論 (Cycle Theory)

そのトレンドは今どの段階か？ (Confirm Phase)

この順序で考えることで、事故を構造的に回避できる。

ケーススタディ：根拠を持ってエントリーするまでの流れ

Step 1: Strength



ドル強・円弱を確認
→ ドル円の買いを検討

Step 2: Dow



日足で上昇トレンド確認
→ 方向は上

Step 3: Cycle



短期足で押し目(調整)からの
反転を確認 → エントリー

結果:「なんとなく」から「根拠あるトレード」への転換。負けトレードが激減する理由がここにある。

注意点：通貨強弱は「エントリーシグナル」ではない

NG (Amateur)	OK (Professional)
「ドルが強い！」→ すぐにドル円を買う	「ドルが強い」→ 買い目線で準備 (Bias)
天井掴みのリスク大	具体的なエントリーポイント (押し目) を待つ

The Golden Rule: 通貨強弱は「方向を決める材料」であり、
「入るタイミングを決めるもの」ではない。

最大のメリット：「無駄な負け」を排除できる



ケース：全通貨が中立（レンジ）の場合

- USD: Neutral
- EUR: Neutral
- JPY: Neutral

力の偏りがない



優位性がない



「様子見（Wait and See）」を選択

無理に手を出してレンジ相場で消耗することを防ぐ。
「待つ」という最強のポジションを取れるようになる。

感覚から構造へ。環境認識をマスターしよう

- ✓ 通貨強弱で「相場の力関係」を見る
- ✓ ダウ理論で「方向」を確認する
- ✓ サイクル理論で「段階」を把握する

「どこで入るか？」の前に、「なぜ今そこを見るのか？」
その答えを持てるようになった時、トレードは劇的に変わる。
一緒に成長していきましょう。

